

## PRESS RELEASE

報道関係者各位

令和7年4月30日  
公益社団法人 日本植物園協会**日本植物園協会ナショナルコレクション認定**  
～植物遺産 日本で栽培される貴重な植物を守り、伝える～

我が国には6,700種類を超える野生植物が自生し、それらや渡来植物を元に数多くの観賞用植物や有用植物が作出されてきました。しかし、現在においては、日本の野生植物の約1/4が絶滅危惧種に選定され、古くに作出された栽培品種の多くも失われつつあるのが現状です。

日本植物園協会では、平成29年7月より「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的に、ナショナルコレクション制度をスタートしました。審査に合格したコレクションを貴重な植物遺産「日本植物園協会ナショナルコレクション」として認定し、情報を公開し、コレクションの橋渡しをすることで、長期間安定した保全を推進します。

今回、新たに1件が認定され、令和7年5月27日に開催される日本植物園協会浜松大会（担当園：はままつフラワーパーク、会場：アクトシティ浜松コンgresセンター）で認定証授与式が行われます。また、5年に一度更新が必要な3件（第4号～第6号）も更新認定されます。今回の認定を含むこれまでの23件の認定で、サクラソウやツバキ、ツツジ、サクラ等の伝統園芸植物をはじめとする3,466種類がナショナルコレクションとして登録されます。

我が国で栽培される貴重な植物を保全するための当協会の取り組みや、多様な植物コレクションのすばらしさを是非報道にて取り上げていただきたくご案内申し上げます。

**○第23号 「江戸時代に作出されたクルメツツジ」**  
一般財団法人久留米市みどりの里づくり推進機構 久留米市世界つつじセンター（福岡県）

クルメツツジは、福岡県久留米地方で江戸時代天保年間に久留米藩士によって品種改良が始まりました。これまで900超の品種名の記録が残っていますが、現存は約350品種と推定されます。本コレクションは、これらのうち江戸時代に作出された68品種中64品種から構成されます。認定団体は、園内にコレクションの植栽区を設け、4月の一般開放や小学校の総合学習で保全する意義を解説しています。

【2025年3月6日認定】

**National  
Collection**  
JABG National Plant Collection  
Certification System日本植物園協会 ナショナルコレクション委員会  
114-0014 東京都北区田端1-15-11 ティーハイムアサカ 201  
TEL 03-5685-1431  
Email [jabg-nc@syokubutsuen-kyokai.jp](mailto:jabg-nc@syokubutsuen-kyokai.jp)